

読み聞かせて親子のコミュニケーションを

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課読書推進係

読み聞かせは、子どもの情緒や想像力を育て、ことばを覚える機会にもなります。親にとっても子どものすてきな表情を通して子育ての楽しさを感じるひとときです。

●読み聞かせが育むもの●

「ことば」と「こころ」を育てます

子どもは、ことばを耳で覚えます。耳からどんどん新しいことばを吸収していきます。

ことばを覚えるだけでなく、耳から聞いて具体的なものや場面などのイメージをふくらませたり、さまざまな気持ちを感じたりすることが大切です。



家族への信頼を育てます

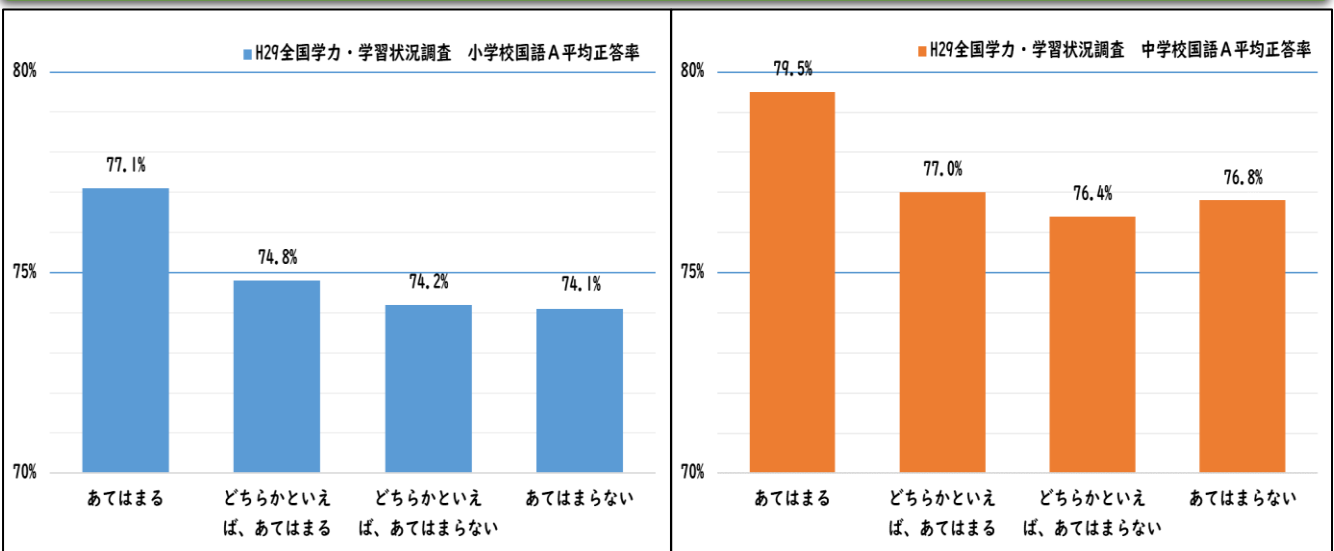
読み聞かせを通してふれ合う時間は、親子にとって楽しいひとときになり、子どもの家族への信頼を育てます。



学ぶ力の基礎を育てます

読み聞かせを通して本の世界にふれることは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、学ぶ力の基礎を育てます。

保護者アンケート「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」と全国学力・学習状況調査平均正答率との関係



「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」の項目で、「あてはまる」と答えた家庭の子どもの学力が高い傾向にあります。





子どもの成長に合わせて読み聞かせを

0歳～2歳の読み聞かせ「親子遊びの一つとして楽しもう」

絵本の読み聞かせは、生まれてからすぐにでもはじめられます。子どもが座れるようになったら、ひざに乗せるなど、寄り添って読むことが大切です。

途中までや好きなページだけでも読み聞かせたり、ときには歌を歌ったりするなど、親子遊びの一つとして楽しみましょう。

【おすすめの絵本】

-  子どもの好きなものがのっている
-  身近な動物や植物が登場する
-  生活の中のことばにふれている
-  ことばや音のくり返しがある など







2歳～6歳の読み聞かせ「ことばやジャンルを広げよう」

会話ができるようになってくると、ことばの数が増えていきます。いろいろな実体験を大切にしながら、絵本や本のジャンルを広げていきましょう。

この時期は、文字を覚えはじめても、読み聞かせは続けましょう。絵本や本が読めても、文字を追うのに一生懸命になり、お話を楽しめるとは限りません。読み聞かせてもらうことで内容に集中できるので、絵本や本の世界に引き込まれていきます。

【おすすめの絵本や本】

-  昔話
-  物語・童話
-  科学絵本
-  生きもの図鑑 など



絵本はいろいろな場所にあります

さまざまなジャンルの本と出会う機会を増やしましょう。

道立図書館をはじめ、市町村立図書館（室）はたくさん本をそろえており、無料で借りることができます。「読み聞かせ会」や「わらべうたの会」などのイベントを開催しているところもあります。

図書館（室）から遠い地域に住んでいる方などのために、図書館の本を車に積んで巡回する移動図書館を運行している地域もあります。図書館（室）と同じように本の貸し出しを行っています。

市町村の子育て支援センターなど、絵本を読むことができる施設があります。地域によっては、乳幼児検診に合わせて読み聞かせ会などのイベントを開催するところもあります。

